

7月21日 「上方演芸特選会」のお誘いへ行ってきました  
レクリエーション事業部

梅雨明けの7月21日、国立文楽劇場で「上方演芸特選会」を楽しみました。奇数月に4日間のみ「文楽」を離れて落語・漫才・マジック・浪曲・講談などの「上方演芸」を開催しております。

お申込みいただいた25名の皆さんと、外の暑さを忘れる楽しいひと時でした。トップは若くて元気な「桂団治郎の落語」、京山幸枝若の弟子で金髪の「京山幸太の浪曲」、折り紙の蝶々が扇子で自由に舞う「魔ほうの愛華のマジック」、昭和24年生まれベテランの「旭堂南麟の講談」、<仲入>が有って、会場を明るく盛り上げた屋形船とのやり取りの話は「笑福亭生喬の落語」、笑いました父と娘の親子漫才「三吾・美ユル」、トリは狭窄症から元気になったとか、女流浪曲師「天中軒雲月」で幕。皆さんそれぞれ熱演で楽しませていただきました。いろいろな演芸が楽しめる「上方演芸特選会」、また参加したいと思いました。

